令和４年度　第１回研修アンケート

質問①　普段、社会資源の情報をどのように収集しているか。

包括に相談している

社協や地域からの情報　交流センターだより　広報磐田　施設にある掲示物

地域包括支援センターや知り合いのケアマネに相談している

包括支援センター職員に聞く、利用者・家族からの情報、研修

ご家族から聞く、包括、自分でも意識して探したり足を運ぶ

事業所内や包括支援センター、福祉用具ほかの事業所利用者などで収集している。

ケアマネ同士や、事業者さん、広報などから。

新聞載った記事をチェックしたり、包括に問い合わせたりして事業所内でお互いに情報共有している。

インターネット

ケアマネ同士で情報を得ている。

ケアマネ同士の情報共有、事業所が作っているチラシや広報誌、市の広報、iプラザや支所に置いてあるパンフレット等、事業所のホームページを検索する

包括の方々に伺う、同居宅のケアマネと情報交換

地域包括支援センター

民生委員さんからの聞き取りや地域の方から伺う。

同法人の他居宅等

事業所の先輩職員に聞いたり、ホームページで検索することが多い。

包括、新聞、広報から情報を得ています。

地域の包括から情報収集

インターネット　市の冊子　他ケアマネの情報

同僚、中部包括の社会資源冊子、各包括、

事業所等

事業所内のケアマネ、包括からの情報、社会資源ハンドブック（中部包括）など

包括や事業所のケアマネ間での情報共有

地域の情報誌、広報誌、広告、看板、問い合わせ

包括支援センター作成の冊子、社協や包括に問い合わせなど

包括から聞くことが多い。また、利用者からの情報も聞くことがある。

インターネット、包括センターに相談、事務所のケアマネに相談

包括や市に行き情報を貰う。インターネット検索。職場内での情報共有

インターネット、情報誌、包括支援センター等に確認

インターネット、周りに聞く、包括に聞く

利用者さんや業者さん等からの提供

インターネット

包括や他居宅から、事業者からの営業等

包括センターなどで収集して頂いた冊子からはよく見て参考にしています。

事業所にある資料。

ネットや地域包括支援センターより

チラシ、ホームページ、電話問い合わせ

磐田へ移動してきたばかりの為、居宅内で教えていただくことがほとんどです。

包括やネット、業者からのチラシ、FAXなど

事業所内での情報交換、新聞、広報から情報収集、インターネットでの検索を行っています。

社協、回覧板

包括支援センターや社協

地域包括支援センターや他居宅に聞いたり、チラシの配布もあるところは必要に応じて個別に連絡し情報をキャッチしている。

職場内での情報交換、インターネット、パンフレットから情報を収集し、詳細については電話で確認。地域の社会資源については利用者や家族からの問い合わせで知る事もある

ネット検索　包括に聞く等

インターネットで確認する。包括、事業所のケアマネに相談する。

ケアマネ間での情報共有・地域住民からの情報・広告や事業所からの案内の収集・

インターネットで調べる、など

他ケアマネや事業所から情報をいただいたり、ネットで検索したりしています。

中部包括さんが作成していただいた地域資源ポケットガイドや同じ事務所のケアマネからの情報など。

・エリアの包括支援センターに教えてもらう。

・インターネット検索

・社会福祉協議会に問い合わせる。

包括支援センター

同僚の情報・中部包括作成の社会資源資料等

その他包括・各事業所等

包括支援センターに確認・ネットの情報（市のＨＰなど）

事業所内会議、社協本所との連携、包括からの情報、窓口に紹介に来られる　ネット検索等

第２層コーディネーターに電話で聞いたり、紹介のあった情報公表システムで検索したり、いきいき１００歳体操関係は市の担当部署に電話している。

居宅内のケアマネや包括等へ相談、社協へ確認を行う

ケアマネ同士の情報交換や包括から等

気になる事は自分で調べたり同じ事務所の方に聞いている。iプラザや支所のパンフレットを見て参考にしている。（情報のパンフレット）

質問②　第１回研修の感想など

社協の活動が分かって良かった。

近隣の居宅と話し合いができて良かった。

ケアマネと社協やSCとの連携を深めていきたいと感じました。

地域によって困りごとが異なったり、支援内容が異なることが分かった。まだまだ知らないサービスがあることも。社協との連携の大切さも学ぶことができた。

改めて社協の方が分かりやすく社会資源を説明して下さり、ありがたかった。今後はもう少し協力体制を整えながら社会資源を有効活用していきたいと感じた。

これから地域資源を活用しないとケアマネのスキルを問われるようになってきているのを痛感してきているところだったので、いい研修になりました。

今日話し合った中で出てきた社会資源が、実現できていくよう、出来る事は行っていきたいと思いました。

いこいの場アプリの事は知らなかったので収穫です

今後、社協との協力も必要と感じた。

地区社協の生活応援くらぶは利用し知っていましたが、その他にも色々な活動がある事を知りました。普段から社協さんの活動をもっと知り、活用したいと思いました

社協の知っている情報や連携をどのように入手すればいいかと思いました。今回の会議を通してこんなことも知っているのかと思ったが、そういう情報を持っているのを知った事は貴重な機会でした。

研修ありがとうございました。エリアの近い方とお話ができよかったと思います。

生活支援コーディネーターの方の活動がもう少し見えてくるといいなと思いました。

地域の社会資源が豊富なことを知り、とてもびっくりしました。今後の支援に活かしていきたいと思います。

生活応援クラブのことがより詳しくわかってよかったです。ブレイクセッションでもお話があったように子どもと高齢者の相性も良いのではと思います。子どもだけ高齢者だけではなく枠を取り払った集まれる場所が地域にあればと思いました。

大変勉強になりました。色んな社会資源をさらに知り深める機会となりました。ありがとうございました。

話し相手や趣味活動など、生活応援クラブで検討できる事が分かり、必要時は活用できればと思いました。ありがとうございました。

ありがとうございます

他事業所のケアマネさんが、社会資源の情報を多く持っている場合があり、相談をすることの必要性を感じました。

研修の内容・フォームについてですが、当事業所がマイナーだとは思いますが、タブレットで研修に参加していて、また、デスクトップにもPowerPointが入っていません。フリーソフトでpptxファイルを開けることになりますが、構成もサイズも崩れてしまいました。今回は書記でしたが、様式を作り直してお渡しすることをお許し下さい。

地域によっても、社会資源の内容やサービスの量に差があると感じた。買い物等の移動手段に関しては、課題に思っている方が多いのだとわかった。

社会福祉協議会の概要、詳細を知ることができ、とても有意義な研修でした。

「あったらいいな」が実現できるといいと思いました。研修ありがとうございました。

こちらからも情報が発信できるようできればいいと思うが、なかなか苦手な部分ではあるので今後も情報収集をして、利用者に提案できるようにしたい。

生活応援倶楽部の地区ごとの活動について学ぶことが出来ました。コロナ感染予防に注意しながらも安い金額で支援をしていただけるのはありがたいと思いました。活動をしていただける人を探していくのも大変かと思いました。これからも頼りにしたいと思います。

社会資源が多くある事で高齢者の社会参加

他のグループの意見を見てみたいです。

社協さんのお話が聞けて参考になりました。

さくらの苑の鈴木珠美です。初めての参加でしたので、聞くもの全てが勉強になりました。社会資源の活用は、難しく考えがちでしたが、自分のアンテナを高くすることが大切だと、改めて感じました。

社協との連携をもっと強化すべきと感じた。

知らない社会資源がまだまだたくさんあると感じた。

貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

応援クラブの取り組みに関しては、自身の施設の地域にはないようなので、立ち上がるとよいなと思いました。

グループワークでは、それぞれのケアマネジャーさんが社会資源を取り組んだケアプランの作成をしていることを知りました。自身も意識をもって社会資源の活用をしていきたいと思いますし、より情報収集をしていきたいと思います。

社会資源には地域差があり、充実している地域としていない地域の格差があると思う。これからは無償ボランティアなどではなく、最後に紹介されていた、比較的若い年代の方たちが参入しやすく、ビジネスとして成立するやり方を市がバックアップするようなモデルができると良いと思った。

研修ありがとうございました。生活応援倶楽部の活動や、通いの場、個々のボランティアなどいろいろな資源があるということが知れて良かったです。近くに通いの場はあるものの、そこまでに行く移動支援がないのでそういった資源が充実していけばもっと活動の範囲が広がっていく気がしました。

家族の力と地域の力はバランスが大切だと感じた。

少しでも早く、地域活動が以前のように運営できる事を願っています。

私自身もまずは住まいの地域で、出きることを考えていきたいです。

磐田市社協の活動内容や生活支援コーディネーターの役割、せいかつ応援倶楽部の現状等を改めて再認識できました。ケアマネとして必要な時にはその必要性を強く感じるが、そうでない時には現状の引き出しで満足してしまっている自分に気付きます。もっとそばにある社会資源を認識し、活用，提言できるとよいと思いました。

社協の活動が改めて理解できた。

不足している社会資源を見つける事が出来ても、それを補うためにどうするべきか、ケアマネはどう動くか、何をすべきか、考えていきたい。

久しぶりにケアマネ連絡会の研修に参加できてよかったです。

移送手段については良く質問があるので何か新しい情報がでたら教えていただきたい。

・せいかつ応援クラブのことや社協の位置付けについて改めて学ぶことが出来ました。

・ケアマネも社会資源の一つであると思いますが、自分自身どこまで対応して良いか悩むことはよくあります。

生活応援クラブの詳しい内容を聞くことができて良かったです。なかなか利用につながらないケースが多いので、自分の知識としてこれからも業務に活かしていきたいと思います。

社会資源のお話参考になりました。利用者さんが利用できるように提案していきたいと思いました。ありがとうございました。

利用者を支援していくにあたり、サービスだけでは生活を支えては行けないと感じている。

早急な社会資源開発や本来の地域住民の関わり合いが、これからの社会には必要だと考える。

ケアマネは、事務量がかなり増えている中で地域開発を担っていくのは、十分な効率化をしていかなくてはいけないだろう。

福祉なんでも相談窓口ができたことは、知りませんでした。ボランティアバンク的に情報が社協に集まってきていることも理解できました。

地域にこのようなボランティア希望の人がいるとの情報を、ネットで広く知ることが出来たらよいなと思います。求めている人が検索しやすいといいなと思います。

生活応援クラブを利用が希望時に、各地域の連絡先の受け入れ時間が限られているため、

スムーズに話が進まないことがある。社協が、連絡先となり、折り返しでの連絡方法を

とってくださるとサービス調整がしやすいと感じる。

趣味活動への支援がある事が分かり良かった。ケアプランにも取り入れて、利用者の自立支援につなげたい。地域には、いろいろな得意分野を持っている方もおられ地域での支え合いにケアマネとしても一緒に支援させていただきたい。